

令和2年度

事業報告書

公益財団法人茨城県学校給食会

# 令和2年度事業報告書

## 学校給食支援事業(公益目的事業)

### 1 学校給食用物資の安定供給に関する事業(定款第4条第1項第1号)

(1) 県内学校給食単独校調理場設置学校, 学校給食共同調理場を対象として下記の諸物資を供給した。

#### ア 基本物資

本会は, パン・ソフト麺の原料となる小麦粉は, 県産小麦(きぬの波)及び輸入小麦の年間必要数量を製粉会社を通して確保し, 県産小麦粉の消費拡大を図るとともに安定供給に努めた。

米穀については, JA全農いばらきとの協力関係を構築し, 各市町村の産地指定米の年間使用分を玄米として確保していただくとともに保管を要請し, 本会では毎月精米として計画的に購入し供給することにより安定的な供給に努めた。

(ア) パン	規格	数量	(エ) 精米(県産) (自校炊飯用)	規格	数量
(輸入小麦80%) (県産小麦20%)  塩分 1.8% → 1.5% ※令和2年4月より	30g	374,560 個	コシヒカリ  産地指定無  産地指定有	1kg  "	0 kg  83,813 "
	40 "	1,596,460 "			
	50 "	1,722,001 "			
	60 "	1,984,456 "			
	70 "	2,135,857 "			
	80 "	973,014 "			
90 "	0				
合計		8,786,348 個	合計		83,813 kg

(イ) ソフト麺	規格	数量	(参考) 米粉パン	規格	数量
県産小麦100%	60g	598,100 食	※一般物資扱いのため  県産米使用	30g	5,603 個
	80 "	658,193 "		40g	185,732 "
	100 "	782,233 "		50 "	217,777 "
	120 "	1,039,945 "		60 "	193,563 "
	合計	3,078,471 食		70 "	215,648 "
			合計		818,323 個

(ウ) 牛乳	規格	数量
	200cc	41,407,833 本

(オ) 米 飯 (委託炊飯)

銘 柄	コシヒカリ				
茨城産	産地指定無		産地指定有		合 計
重 量	弁当方式	飯缶方式	弁当方式	飯缶方式	
60 g	0 食	0 食	214 食	468 食	682 食
70 "	0 "	0 "	2,817,098 "	1,354 "	2,818,452 "
80 "	0 "	0 "	2,579,508 "	1,619 "	2,581,127 "
90 "	0 "	0 "	2,409,965 "	13,131 "	2,423,096 "
100 "	0 "	0 "	1,877,397 "	50,202 "	1,927,599 "
110 "	0 "	0 "	4,176,616 "	1,269 "	4,177,885 "
120 "	0 "	0 "	1,243,161 "	99,805 "	1,342,966 "
規格外 kg		0 kg	0	285 kg	2,850 "
合 計	0 食	0 食	15,103,959 食	170,698 食	15,274,657 食

※ 規格外については1kgあたり10食で換算

※米飯(オ)の委託炊飯の精米使用量

	コシヒカリ
産地指定無	0.00 kg
産地指定有	1,435,669.53 kg
計	1,435,669.53 kg

総精米使用量 精米(エ)(自校炊飯)及び米飯(オ)(委託炊飯)

1,519,482.53 kg

## イ 一般物資

令和2年度

品名	金額(円)	前対	品名	金額(円)	前対
(冷凍食品)			県内使用商品(乾物)	7,978,416	106%
コロッケ製品	12,024,952	86%	県内使用商品(冷蔵)	10,738,792	106%
その他フライ製品	10,983,943	85%	混ぜご飯(混ぜ込み)	3,089,178	78%
その他冷食	34,347,678	130%	混ぜご飯(炊き込み)	1,475,802	189%
パック魚製品類	25,139,986	102%	砂糖類	3,839,408	79%
パック肉製品類	6,161,149	83%	削り節類	6,519,078	108%
ハム・ソーセージ類	110,410,115	103%	小麦粉製品類	7,071,095	92%
ハンバーグ製品	6,485,489	63%	大ドレッシング類	4,400,343	85%
メンチ製品	6,178,068	111%	卓上ドレッシング類	12,207,557	71%
茨学栄協議会開発食品	7,600	#####	佃煮類	960,655	131%
季節行事食(冷食扱い)	23,589,805	71%	漬物類	8,989,263	138%
魚フライ製品	87,529,942	92%	農産乾物類	39,363,659	101%
魚介類	9,195,310	74%	農産缶詰類	12,535,485	84%
魚切り身製品	17,802,748	67%	米原料製品類	13,728,397	76%
県内使用商品(冷凍)	103,425,071	93%	味噌類	5,807,747	92%
全学栄協議会推薦製品	2,066,265	116%	油脂類	5,584,813	131%
全学栄協議会製品	104,910	62%	【小計】	330,755,591	96%
畜肉類	19,433,435	59%			
中華製品	50,391,232	94%	(デザート類)		
天ぷら製品	22,049,718	133%	チルドデザート	18,868,234	120%
肉フライ製品	13,500,343	105%	デザート(ゼリー類)	17,867,134	158%
肉団子類	12,720,868	155%	デザート(その他)	4,311,511	38%
卵製品	18,229,821	80%	デザート(果実類)	10,661,961	94%
冷凍野菜類	67,451,533	80%	ヤクルト・ヨーク製品	7,831,764	69%
練製品	58,750,040	89%	【小計】	59,540,604	143%
【小計】	717,980,021	91%			
(乾物類)			(その他)		
カレールー類	14,964,671	102%	洗剤類	10,439,108	142%
ジャム類	19,795,399	101%	備蓄品	8,640,820	508%
スナック類	5,280,893	157%	備品	5,944,490	103%
ソース・醬油類	12,942,698	94%	米粉パン	55,381,274	100%
その他乾物	27,943,456	88%	規格外品等(特注品, 途中終売品等)	236,028,350	83%
その他缶詰	2,375,211	106%	【小計】	316,434,042	89%
その他冷蔵品	325,584	34%			
だし・香辛料類	24,510,574	100%			
パックドレッシング類	700,032	211%			
ふりかけ類	7,262,084	194%			
マーガリン・チーズ類	7,166,862	94%			
マヨネーズ類	1,217,715	63%			
レトルト製品類	39,587,988	90%			
海産物類	22,392,736	92%			
			合計	1,424,710,258	93%

(2) 一般物資の選定

学校給食用製品開発選定委員会の開催

委員会の構成

- ①茨城県農林水産部販売流通課 ②茨城県教育庁保健体育課  
③茨城県学校給食共同調理場連絡協議会 ④茨城県学校栄養士協議会  
⑤茨城県 PTA 連絡協議会 ⑥茨城県学校給食会 ⑦その他理事長が必要と認める者  
計 13 名

開催日 12月10日 本会会議室

選定数 34品 (冷凍品22品 乾物12品)

(3) 一般物資の開発

学校給食用製品開発選定委員会により、学校給食への地産地消を推進するため、県内農産物を使用した製品開発の検討を行った。今後、県内農畜水産物原料の安定確保、及び製品の価格設定が課題となった。

開催日

第1回 6月 書面による地場産物への意見聴取

第2回 12月10日 本会会議室 地場産物への意見聴取

(「茨城県産冷凍パプリカダイスカット (赤) (黄)」)

(4) 開発選定された一般物資の資料配付

学校給食用開発選定委員会で選定した一般物資選定品、及び開発品について、その資料を作成・配付し、栄養教諭・学校栄養職員等へ製品の紹介をした。また、資料の配付後、希望者にはサンプル品を送付した。今後、開発選定品の更なる普及を図ることが課題となる。

なお、物資検討会(展示会)は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催を中止した。

(5) 三県(茨城・栃木・千葉)共同購入委員会における一般物資共同仕入体制の推進

共同購入によるスケールメリットならびに安全・安心の確保のため購入物資の選定・開発を行った。

入札購入 10品目(缶詰等6品目, 冷凍野菜4品目)

随契購入 4業者(SN食品研究所, カセイ食品, ニチレイ, 日本水産)

取扱い金額 272, 446千円(昨年度283, 940千円)

2 安全及び品質確保のための検査, 衛生管理等に関する事業(定款第4条第1項第1号関係)

(1) 安全及び品質確保

ア 食品検査室による定期検査の実施

冷凍食品及び常温物資を対象に 37回 364品目(昨年度25回336品目)について、細菌検査を実施し品質管理の徹底に努めた。また、学校給食用パンについて、県内全工場製造品を対象に27品(26工場:27品)の細菌検査を実施した。

イ 小麦粉の残留農薬及び成分検査(日本穀物検定協会に委託)

学校給食パンの原料である小麦粉の安全の確保と適正に供給するため、残留農薬検査は年2回（17項目）実施するとともに、成分（水分、粗たん白、粗灰分、粒度、ビタミンB<sub>1</sub>）については、毎月検定を実施した。令和2年度から残留農薬検査にグリホサートの検査を追加した。

ウ 学校給食用パン抜取り品質審査会の実施

学校給食用パン委託加工全工場より抽出した製品について、「学校給食用パンの品質採点表示方法（一般社団法人日本パン技術研究所）」を参考とし採点審査を行った。

第1回、第2回の審査会とも、新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、審査員数を減らして実施した。

採点全結果を委託加工工場へ周知し、品質向上を図った。

第1回 10月 30日 26品 本会会議室

第2回 2月 25日 26品 //

エ 学校給食用ソフト麺抜取検査の実施

学校給食用ソフト麺の品質及び安全確保のため、年2回、県内学校給食用メン委託加工工場全製品を対象に水分及び細菌検査を実施し、検査結果に基づき書面により指導を図った。

第1回 11月 9日～13日 8品 本会検査室

第2回 2月 15日～19日 8品 //

オ 学校給食用米飯の飯量調査の実施

学校給食用米穀を適正に供給するため、9月から毎月、委託加工工場ごとに1施設のモニター校（15施設）を委嘱し、納品時ごとに飯量調査を行い、文書による個別指導を図った。

（4月から6月1週目まで学校が休業になったため、9月から実施）

カ 米穀の鮮度判定の検査の実施

学校給食用米穀を適正に供給するため、産地指定（28地域）ごとに毎月、本会の職員による鮮度の判定を実施し、その結果をホームページ上に公開した。

キ 放射能検査の実施

本会取扱物資のより一層の安全性を確保するため、県内農畜産物を中心に放射能検査を実施し、その結果をホームページ上に公開した。

○一般物資 本会検査担当職員による検査 156検体

○基本物資 精米（産地指定ごとに検査） 31検体

小麦粉（パン） 1検体

小麦粉（麺） 1検体

} 外部委託

※一般財団法人茨城県薬剤師会検査センターに検査を委託し、その結果を該当市町村へ報告。

(2) 委託加工工場（パン、麺及び米飯）の衛生管理指導・相談・助言

ア 必要により本会職員による随時訪問し指導・相談・助言等実施

イ 委託加工工場HACCP研修会の実施

学校給食委託加工工場関係者に対して、HACCPについて認識を深め、完全実施に向けての取り組みをより強化することを目的とした研修会を実施した。

2月27日 41名参加 茨城県開発公社ビル 4階大会議室

3 学校給食の充実発展及び食育支援に関する事業（定款第4条第1項第2号）

(1) 食育指導資料の購入・無償貸与

ア 食育指導資料，検査機材の購入

実績なし

イ 食育指導資料の無償貸出 延べ27か所

紙芝居 26部（昨年度66部） DVD 7本（昨年度3本）

書籍 3冊（昨年度9冊） その他 33（昨年度40）

ウ 学校給食の検査体制強化に係る簡易検査機材（培地・試薬を含む。）の無償貸与事業

ふらん器（大腸菌群，一般細菌，黄色ブドウ球菌等の検査用） 1施設（昨年度2施設）

紫外線ランプ（残留脂肪の検査用） 5施設（昨年度1施設）

ATP拭き取り検査セット（汚染度判定検査用） 15施設（昨年度14施設）

糖度計 0施設（昨年度1施設）

塩分計 1施設（昨年度9施設）

エ 冷凍保管庫設置補助

事業費 300,000円

取手市立寺原小学校，利根町立利根中学校，牛久市立神谷小学校 以上3箇所

(2) 各種講習会等の開催

ア 地場農畜産物を利用した学校給食献立コンテストの実施

栄養教諭及び学校栄養職員を対象に，地産地消の見地から地場農畜産物の利用促進及び消費拡大を図るとともに食育の推進に寄与することを目的に実施し，参加者等に対し取り組みへの意識向上に繋げることに寄与した。

10月27日 献立コンテスト第1次審査会 34点応募 5点選出（昨年度35点応募）

11月27日 献立コンテスト第2次審査会（5点による実技審査）

1月21日～28日 表彰式 表彰者指定場所（所属学校等）

イ 学校給食調理従事員衛生等講習会の開催

新型コロナウイルス感染予防対策を含めた衛生管理の徹底について，調理業務に従事する学校給食調理従事員，学校栄養職員を対象に，インターネット配信を利用した講習を実施し，新型コロナウイルス感染予防対策や夏場の給食調理などタイムリーな内容の講演が好評を得た。

開催日 8月6日 参加者 41名（昨年度81名）

講師 （株）オフィス田中 代表 田中 延子

ウ 学校給食管理システムソフトウェア無償貸与の実施

貸与箇所（総数） 251箇所（昨年度251箇所）

講習会については，新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から，開催を中止した。

(3) 学校給食充実発展・食育支援事業等に係る助成事業

茨城県内の学校給食の充実発展並びに学校等における食育を推進するため，学校給食関係団体等が実施する事業に対し助成した。

1団体 30,000円

(4) 研修室・会議室等の貸出(学校給食関係団体その他公益団体等への無償提供)

延べ5団体等 人数 延べ 42人  
昨年度 延べ 1,090人

(5) ホームページによる広報活動

本会の概要・食育・地産地消・給食管理システム・物資情報(栄養成分・遺伝子組換え・アレルギー物資等)・検査結果(一般細菌・放射能)・財務諸表等の情報提供に努めた。

(6) 広報誌の発行

ア 給食いばらき 2回(11月, 3月)

11月 2,100部 3月 2,050部 各関係先に配布

広報編集委員会の開催

委員会の構成

①茨城県教育委員会

②茨城県教育研究会学校健康教育部会

③茨城県学校給食共同調理場連絡協議会

④茨城県学校栄養士協議会

⑤茨城県PTA連絡協議会

⑥茨城県学校給食会(2名) 計7名

開催日 第1回 7月30日 本会会議室

第2回 11月19日 本会会議室

イ 学校給食だより(IGKだより) 10回 各300部 学校等へ配布

ウ 学校給食献立コンテスト入賞作品等作品, 料理集 年1回 1,100部

#### 4 学校給食関係団体への助成事業等及び連携

(1) 茨城県学校栄養士協議会への助成	300,000円
(2) 茨城県学校栄養士協議会ブロック別研修会への助成	271,000円
(3) 茨城県共同調理場連絡協議会への助成	150,000円
(4) 茨城県共同調理場連絡協議会ブロック別協議会への助成	300,000円

#### 5 庶務概要

(1) 理事会, 評議員会等

ア 令和元年度決算監査 令和2年5月21日

イ 令和2年度第1回通常理事会 令和2年6月2日

議案

第1号 令和元年度事業報告並びに決算の承認について

第2号 役員等の選任に係る推薦について

第3号 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について

ウ 令和2年度定時評議員会 令和2年6月23日

議事

議案



第1号 令和元年度貸借対照表, 損益計算書(正味財産増減計算書)及び財産目録の承認について

第2号 評議員の選任について

第3号 理事の選任について

第4号 監事の選任について

報告

令和元年度事業の報告について

エ 令和2年度第2回通常理事会 令和3年3月22日

議事

議案

第1号 令和3年度事業計画及び収支予算等について

第2号 公益財団法人茨城県学校給食会給与規程の一部改正について

報告

理事長及び常務理事の職務執行状況について

## (2) 各種会議等

ア 3県(茨城・栃木・千葉)学校給食会共同購入委員会

11月17日 共同購入委員会 本会

コロナウイルス感染症拡大予防の観点から中止となった事業等

(1) 一般物資の開発・選定

- ア 令和2年度下半期物資検討会（展示会）
- イ 令和3年度上半期物資検討会（展示会）

(2) 委託加工工場（パン、麺及び米飯）の衛生管理指導・相談・助言

- ア 衛生指導及び拭き取り検査
- イ 日本パン技術研究所による全パン連フードセーフティ検査
- ウ 元食品衛生監視員による衛生管理巡回指導
- エ 衛生管理講習会

(3) 学校給食の充実発展及び食育支援に関する事業

- ア いばらき食育推進大会
- イ つくろう料理コンテスト
- ウ 調理技術工事用研修会並びに食のセミナー
- エ 学校給食管理システム講習会
- オ 学校給食パン技術講習会
- カ 親子料理教室

(4) 各種会議等

- ア 関東甲信静ブロック学校給食研究協議会
- イ 全国学校給食連合会定例総会
- ウ 関東甲信静ブロック学校給食会会議
- エ 第71回全国学校給食研究協議会
- オ 茨城をたべよう運動推進協議会
- カ 各種講習会
- キ 三県（茨城・栃木・千葉）学校給食共同購入委員会